



市立古屋圖書館々報

大正五十一年七月十日發行

第三十一號

m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

始



◆ 日に十五分間 ◆

近世哲學の大宗スベンサー氏は、多忙の銀行家なりき、彼曰く、何人も一日に十五分位の餘暇はあるべき筈なり。此十五分間を以てホメロの古典を讀めば、一年にしてオデッセイ全卷を讀破し得べし。

◆ 大學に遊ぶに等し ◆

書は、種々の理由より讀むべし。慰藉の爲め、娛樂の爲め、消閑の爲めなど、皆よし、書を讀みて時を移すは、如何はしき樂に耽るべ孰れぞや。書の何たるは、必ずしも問はざるなり。然れども今の世の讀書は、知識を得ん爲めにするが眼目なるべし。

余が如きは、既往二十年多忙の職業に在り。業の餘暇は即ち種々の道樂に追はれ、讀書の人たるを得ざりしかども、我家に在る時間は、手より書籍を離すこと能はず。明治二十三年の末の計算によれば、明治十七年より滿五年の間に、英書一千冊(精讀)を讀みたり。多くの利益を得たりとは稱し難きも、若し讀書すること無かりせば、新聞記者中に身を置くことが能はざりしならん。

カーライル曰く、「余の町に於て眞正の大學校は、書籍の集積なり」と。眞に然り。書籍の集積の中に遊ぶは、大學に遊ぶにも比すべきものならん。躬づから大學に在る能はざる人は、讀書を以て償はんことを、勉むること宜しけれ。



本 部

出場者から

統計上より

見たる

出納員 伊藤二一君

昨年四月以来

閲覧者が如何に本館を利用するかに就て、之を統計上より見るに、館内・館外携出及び児童室の總てが、漸次増加の傾向にあるは誠に喜ばしい現象である。

先づ館内閲覧状況に就て見るに
大正十五年度より
大正十四年度より

比較的の幾分増加の傾向を示して居るし、館外携出閲覧も亦昨年四月開始以來、漸次加速度的に増加して居る。想ふに館外携出は館内閲覧に比し、比較的連續性を有し、各自生業の繁盛の中に最も、家庭に在つて其知識を充たし得る至極便宜の方故、將來之が加速的に漸次増加を示すべきは、當然の數を見る事が出来よう。

閲覧者を職業別より見るときは

館内閲覧者の四割三分が学生、二割一分が商工業者、二割無職業者

六分が官吏軍人、五分が雑業者、四分が教育家宗教家、一分が記者著述家の割合となる。これに依て之を

見るに、學生が最高位を占むるに引き換へ、商工業者はさて置き、知識階級に属する官公吏、教育家宗教家記者著述家等が、恰も曉星の如く寂寥たるは何なる理由なる。少壯有爲のこれら學生は、大に歓迎する所ではあるが、活社會に活動するこれ等人士が、今少し本館を利用されてよからうと思ふ。尤も實社會に活動する人々は、夜日について勤務に忙殺され、日々足らざる有様であらうが、休息と慰安の爲めに、今少しく圖書館を利用されることは思ふ。

婦人は家庭の人として終日政事に縛られ、勢い男

やられる。次いで書画、影劇、音楽等にも、趣味を有つて居るもののが少くないやうだ。

道徳の頗殷した所には倫理學や道德書は不要であらう、教育の盛なる所は教育書の必要が認められよう

産業の盛大なる都市にはそれに關する集書も必要であらう。其他、宗教、法政、經濟等、總てがそうでなければならぬのは當然のことである。

讀つて本館の一般的讀書傾向はといふと、上述の如く比較的圓滿に、總ての部門を通じてよく利用されて居るのは、誠に喜はしい次第といはねばならぬ。尚不足をいふならば、婦人の利用者が余りに僅少な事である。勿論男子と達つて婦人は各々家庭にあつて、家政を司る故、男子の如く利用し得るは理の當然、とは言へ男子十三人に婦人一人の割合は、大正の今日、婦人のために惜しみても専余りあることである。希くは今少し讀書に親み、益々自己の向上を心懸けられたきさである。

尚ほ館内閲覧者に、今少しく商工業者を多くし度いものである。人口七十餘萬の吾が名古屋市は、特に産業名古屋といふ位である。之な歐米の都市に見るに、何れも産業の盛大なる所には、これに關する讀書も亦頗る盛大である。

今後益々發展すべき本市民は、市民として文化の中

の發展に、それ等に關する基礎的智識を要求せねばならぬ譯だ。思ふに時勢の推移は、本館の産業に關する讀書の閲覧傾向を増加せねば止まることである。

若し此時機が來らぬ時は、それは本市産業の出

いへ基の暗雲は拂ひのける事に十分努力せねばなるまい。それは誰の任務であらうか。暴言多謝。

子に比して登館者の少きは當然なるべきし、男子と女子の割合が、十三人對一人とは餘りになさけない感じがする。

婦人閲覧者を職業別より見れば、學生がその五割内外を占め、無職業者三割、教育家宗教家が一割、其他が商工業者、官公吏、記者著述家、雑業者等の順位となる。

上述の割合が四季を通じて千篇一律ではないのは當然の事で、即ち毎年八月及び四月は、比較的閲覧人が甚少である。之は八月は各方面の學校の暑中休暇四月は學年試験の済んだ後で、學生が稍々減少するからであらう。閲覧人の最も多い月は、昨年の数字によると、十一・十二・一・二の五ヶ月間である。この時季は學年試験といふ關係の目前に控へ、學生の登前が多いためである。英和辞典手帳に「リーダー」と書かれた者も澤山出来る。又物理、化學の参考書を借りて自分の教科書やノートに書き足したりする者、代数、幾何、三角等の参考書をもみつする者等種々ある。その他國語、漢文、博物、地理、歴史等、あらゆる参考書が彼等學生間に歓迎されるのも此時である。

次に館外携出閲覧状況に就ていはば
大正十五年十二月末現在

始以後、月と共に利用狀態が擴大されて居る。統計によると開始當所の四月は、總員三十九人、以後毎月急劇に增加して、初年度末即ち本年三月末には、二八九七人の多數を數ぶるに至つた。最近の職業別狀態を見ると、第一位は商工業者全体の五分の二、次は無職業者、學生、記者著述家、官公吏軍人、教育家宗教家、雑業者といふ順序である。七・八両月に男女學生が比較的多數であったのは、暑中休暇で歸國中の者が、圖書館を利用する事を忘れない爲であらう。尚ほ男子と婦人の割合は、館内のそれの如く男子十五人に婦人一人の割合であつた。婦人は無職業者及び學生な

以て占められて居たが、時には教育者、商工業者等もたまに見受けられた。

抑て、これ等館内及び館外携出閲覧者を閲覧圖書別より見る時は、大体左の通りである。

和漢書（大正十四年度統計）

| 部門 | 百分比 | 部門 | 百分比 |
|-----|------|-----|------|
| 洋書 | 一六、二 | 總記 | 三、四 |
| 雜誌 | 第一類 | 第二類 | 三、八 |
| 雜誌 | 六、五 | 第三類 | 一五、三 |
| 雜誌 | 一〇、六 | 第四類 | 八、六 |
| 第五類 | 一〇、六 | 第六類 | 一三、一 |
| 第七類 | 七、四 | 第八類 | 九、六 |
| 第九類 | 五、五 | | |

館外携出圖書（大正十五年十二月末現在）

| 總記 | 第一類 | 第二類 | 第三類 | 第四類 | 第五類 | 第六類 | 第七類 | 第八類 | 第九類 |
|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 六、九 | ○、六 | 二〇、二 | 四、八 | 一、四 | 六、五 | 三、一 | 一、三 | 三、〇 | 〇、六 |
| 三、九 | ○、六 | 二〇、二 | 四、八 | 一、四 | 六、五 | 三、一 | 一、三 | 三、〇 | 〇、六 |
| 第一類 | ○、六 | 二〇、二 | 四、八 | 一、四 | 六、五 | 三、一 | 一、三 | 三、〇 | 〇、六 |
| 第二類 | ○、六 | 二〇、二 | 四、八 | 一、四 | 六、五 | 三、一 | 一、三 | 三、〇 | 〇、六 |
| 第三類 | ○、六 | 二〇、二 | 四、八 | 一、四 | 六、五 | 三、一 | 一、三 | 三、〇 | 〇、六 |
| 第四類 | ○、六 | 二〇、二 | 四、八 | 一、四 | 六、五 | 三、一 | 一、三 | 三、〇 | 〇、六 |
| 第五類 | ○、六 | 二〇、二 | 四、八 | 一、四 | 六、五 | 三、一 | 一、三 | 三、〇 | 〇、六 |
| 第六類 | ○、六 | 二〇、二 | 四、八 | 一、四 | 六、五 | 三、一 | 一、三 | 三、〇 | 〇、六 |
| 第七類 | ○、六 | 二〇、二 | 四、八 | 一、四 | 六、五 | 三、一 | 一、三 | 三、〇 | 〇、六 |
| 第八類 | ○、六 | 二〇、二 | 四、八 | 一、四 | 六、五 | 三、一 | 一、三 | 三、〇 | 〇、六 |
| 第九類 | ○、六 | 二〇、二 | 四、八 | 一、四 | 六、五 | 三、一 | 一、三 | 三、〇 | 〇、六 |

この表による事、文學爱好者が多いやうだが、之は何地も同じ事であると共に、圖書館でいふ文學の範囲が甚廣いからである。次に語學を相當に熱心に研究して居るものもある。雜誌は一般に通俗的娛樂雜誌や婦人雜誌等が最も多く歓迎されるが、特に理學に関するものが相當盛んに閱讀されるのも嬉しい事である。シテその研究者は學生が大半を占めて居るが、彼等學生が如何に熱心に理學を研究して居るかと思ひ

スルコトナレルモノトス。

第五條 本會ハ事務所ヲ當分ノ内市立名古屋圖書館内設立トス。

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
一、兒童圖書研究
二、優良圖書選定並ニ公表

第七條 幹事長一名幹事若干名 優良圖書選定委員若干名 調査委員若干名

第八條 幹事長幹事及優良圖書選定委員ハ總會ニ於テ選舉シ調査委員ハ會員中ヨリ幹事長之ヲ推選ス

第九條 役員ノ任期ハ總會ニ於テ認メタルモノヲ以テ會員トス

第十條 様會ハ毎年一回之ヲ開キ庶務會計ヲ報告ス優良圖書選定會ハ毎月一回之ヲ開キ調査委員會ノ報告ヲ受取考トシ優良圖書選定委員ハ優良圖書ノ選定ヲナス

第十一條 本會ノ經費ハ會員ノ支出並ニ特志者ノ寄附スルコトナ得

調査委員會内規

第一、調査委員ハ兒童圖書ノ全般ニ亘り之ヲ精査研究ナスモノトス。

第二、調査委員ハ市立名古屋圖書館ノ兒童圖書研究室ニ備付ケアル圖書ニ就き各自適宜調査研究ヲ遂ケルモノトス。

第三、調査委員ハ毎月第二第四曜日午後四時ヨリ市立名古屋圖書館ニ於テ各自ノ調査研究ノ發表會ヲ開ケ四、調査委員會ハ火曜日發表會ノ内容ヲ幹事長ニ報告スルモノトス。

第五、調査委員會ニ正副委員長ヲ置クコトナ得。

優良圖書選定會内規

第一、優良圖書選定會ハ毎月第一土曜日市立名古屋圖書館ニ開會ス。

第二、優良圖書選定委員ハ調査委員會ノ報告ヲ參考トシ之を比較研究ヲ爲シ優良圖書ヲ選定ス。

第三、本會員ハ隨時優良圖書選定會ニ出席シ意見ヲ述べスルコトナレルモノトス。

第四、優良圖書選定會ハ幹事長ヲ座長トス。

第五、調査委員會ニ正副委員長ヲ置クコトナ得。

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
一、兒童圖書研究
二、優良圖書選定並ニ公表

第七條 幹事長一名幹事若干名 優良圖書選定委員若干名 調査委員若干名

第八條 幹事長幹事及優良圖書選定委員ハ總會ニ於テ選舉シ調査委員ハ會員中ヨリ幹事長之ヲ推選ス

第九條 役員ノ任期ハ總會ニ於テ認メタルモノヲ以テ會員トス

第十條 様會ハ毎年一回之ヲ開キ庶務會計ヲ報告ス優良圖書選定會ハ毎月一回之ヲ開キ調査委員會ノ報告ヲ受取考トシ優良圖書選定委員ハ優良圖書ノ選定ヲナス

終



十数年間新聞業に從事せられた、島谷亮輔氏が、新聞界の健全な發達に貢献せんが爲めに、其情説をされし改善意見を、新聞業者に提出して居る。斯くの如き大仕掛けの廣告をしなければ、雑誌や單行本が賣れぬとすれば、讀書界も尙ほ幼稚な態を脱しない。又出版界は一體の相場であり、出版業者がガロイ當りを唯一の目的として居る間は、我言論界が不健全なるを免れない。或人の説明によれば、斯る出版廣告は出版業者が拂ふので無く、結局廣告取次業者が拂倒れる迷惑を見るので、取次業者の損失は、新聞社の掛倒れとなるのである。何にせよ出版界の不祥の傾向である。

歐米に於ては讀者が眞面目である爲めに、出版の廣告は極めて小仕掛である。新聞の收入から云々は微細云々に足らない。又廣告料も高い爲めに大きな廣告は絶対不可能である。雑誌などは殆んど廣告されてない。廣告はなくとも、新聞紙の方で一個の義務として迅速に内容を批評し、且つ紹介して呉れる。新刊書の廣告を批評とは同時に行はれるのを常道として居る。我が國の如く廣告料の加算される結果、書籍の代價の亂暴に高い。國は文明國に例を求めるが如きは愚鈍行は此際出版業者、廣告取次業者及び新聞社が連合議論の上掲すべきである。元來出版業の如き地域的商賣で一攫千金を夢みる如きは愚の骨頂である。機会を目的とする出版業者は深く眞の機会市場に手を出して、其運命を争ふべきことを願告したい。

我國に無くして英米に於ける有力な廣告資源は銀行會社の決算報告の廣告である。銀行會社の總會では重役は其營業成績を詳細に報告する。英國の五大銀行の總會に際しては其顧客は編り、其銀行の營業成績の説明のみならず、財政及び金融上に關し有力な演説を試み、政府當局及び一般財界を傾聴せしめて居る程だ。其長廣告の全文は新聞及び經濟雜誌に廣告される。其他の銀行會社も是れと似たものである。投資を目的とする讀者は此廣告によつて其財界の巨頭の出版目でない、眞面目な、練つた意見を聞く機會を與へられるのみならず、其銀行會社の營業状態を細かく知り得るのである。」……と論ぜられて居るが、誠に一考に値するものと思ふ。